

<新規就農者の確保又は認定農業者の育成に取り組む事例>

## ○新規就農者・担い手の育成確保

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 <small>しべつし</small> 士別市 <small>しべつし</small> 士別市あさひ			
協定面積 732.7ha	田 (87.5%)	畑 (0.2%)	草地 (12.3%)	採草放牧地
	水稻・大豆・そば	大豆・秋小麦・緑肥	牧草	
交付金額 6,280万円	個人配分			32%
	共同取組活動 (68%)	農業生産活動等		6%
		農用地等保全体制整備		4%
		農業生産活動等の継続に向けた活動		58%
協定参加者	農業者 112人、農業生産法人 2法人			開始：平成12年度
人・農地プランの作成状況	集落全域で作成済			

### 2. 取組に至る経緯

農業者の高齢化や後継者不足を背景とするなかで、これまで本事業の基本理念のもと、集落内農業者個々の農業生産条件の不利補正を図りながら、農業生産活動の継続に向けた各種対策を実施するとともに、本集落が有する多面的機能の維持活動を集落内農業者が一体となって実施してきた。

しかし、60歳以上の農業者が全体の約6割を占めるまでに至り、一方で、担い手による農地の集積も飽和状態であることから、農業従事者の確保を目的として、第3期対策の主眼を「新規就農者の確保」に置き、新規就農対策事業に取り組むこととなった。

### 3. 取組の内容

1年目は新規就農者確保の取組内容について、集落内で数多くの議論が行われた。事業内容は「新規就農者受入体制の整備と運用」「助成金の交付による就農支援の強化」を主な柱とし、市担い手支援協議会をはじめとする関係機関との連携による新規就農支援チームの創設、受入農家の募集・調整、受入住居の整備、受入農家指導日当・免許取得・農作業委託経費の助成、花嫁対策事業の実施などである。

2年目に2名の就農希望者の受入を開始し、関係機関と連携を密に図りながら、集落ぐるみで研修者の就農に向けた支援を実施している。



【就農研修者と関係者の意見交換会】



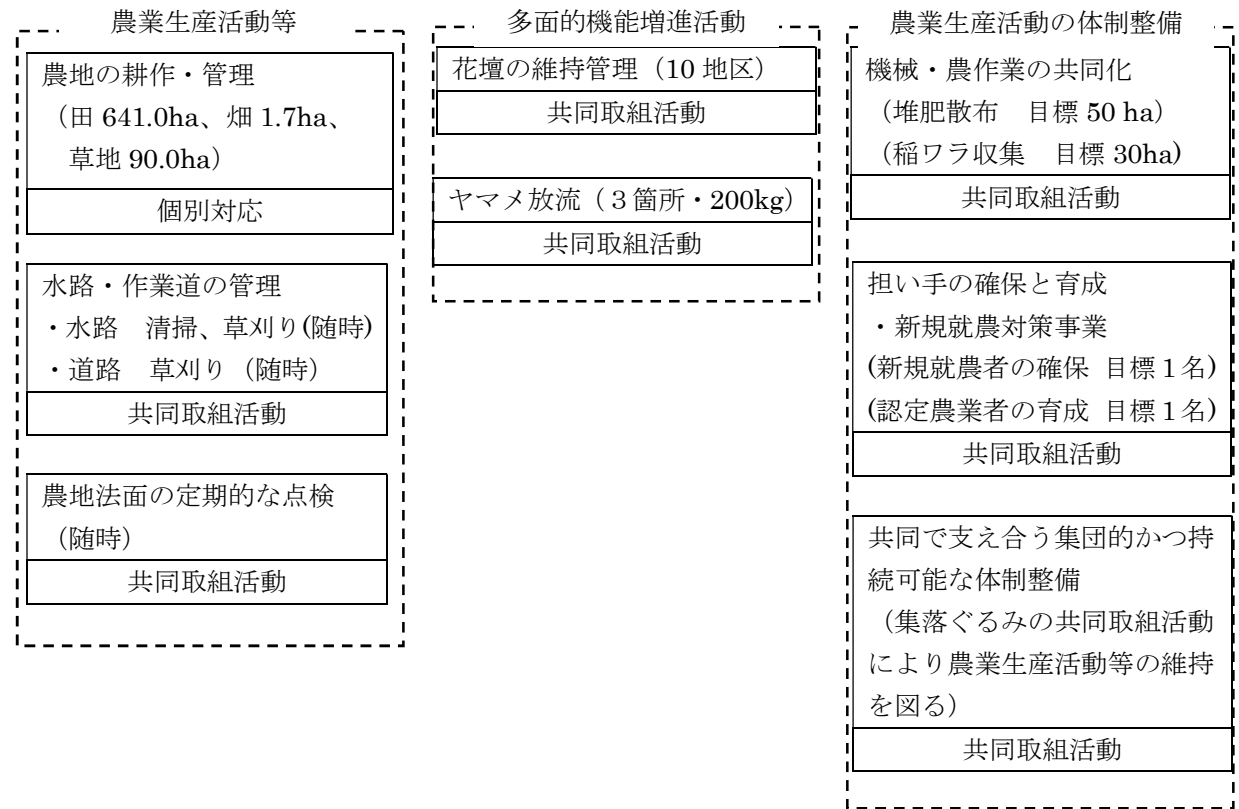
【地域行事に参加する就農研修者】

**[集落の将来像]**

- 集落ぐるみの農業生産活動等の体制整備を図ることにより、農業生産基盤や農村集落機能を安定的に維持・継承できる集落。

**[将来像を実現するための活動目標]**

- 「機械・農作業の共同化等の推進」「担い手の育成と確保」「共同で支え合う集団的かつ持続可能な体制整備」を活動計画の柱とし、生産性の向上及び安定生産、新規就農者確保、農業法人等の育成を図るとともに、農業法人等による農作業受託の推進により耕作放棄地の発生を防止する。また、農村景観の整備、魚類の保護活動等により、多面的機能の維持・増進を図る。



**4. 今後の課題等**

農業者の更なる減少と高齢化による耕作放棄地の発生が懸念されるため、これまでの取組みにより体制整備してきた機能を生かし、農用地・農村集落機能の維持を図ることが求められる。

一方、新規就農者に対する交付金制度の創設等により、就農希望者へのリスク軽減が図られているが、独立・自営就農に比べ、農業法人等への雇用就農の志向が高い情勢でもあることから、これらのニーズに対応できる地域の体制づくりについて検討を進めていかなければならない。

**[第2期対策の主な成果]**

- ・ 新規作物の導入 (にんにく作付 H21目標 100 a、H21実績 235 a)
- ・ 認定農業者の育成 (H21目標 75人、H21実績 82人)
- ・ エゾシカ侵入防止電気牧柵設置 (H21目標 157km、H21実績 174.1km)
- ・ 共同堆肥舎建設促進及び施設周辺整備
- ・ 共同利用機械の導入